



『全国一斉清掃デー』参加の皆様へ御礼



いよいよ夏本番を迎え、皆様にはご清栄にてお過ごしのことと存じます。日頃は倫理活動に、また普及活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。今期も残すところ一ヶ月余りとなりましたが、一人でも多くの方に純粋倫理をお伝えべく、最後までご奮闘下さるようお願い致します。

さて6月は文部科学省後援のもと、全国一斉に地域清掃活動が実施され、当会においても各単会にて取り組んでいただきました。倫理の学びにおいて「物の整理は、心の整理」と教えられております。それぞれに家庭において、また職場において、物への感謝と心磨きの実践をしていただいております、その一環としての地域への恩返しとして毎年実施しております。

家庭も職場も、いわんや地域社会も浄化され、人と物とが調和し幸せに共存することが出来る社会になればと願うばかりです。ご協力いただいた皆様にご心より御礼申し上げます。

滋賀県倫理法人会 会長 中村 治雄



びわこ湖南倫理経営講演会に学ぶ



5月17日、クサツエストピアホテルにて開催されました、びわこ湖南倫理法人会主催の倫理経営講演会に参加しました。平日にもかかわらず約140名が参加し、講演と事業体験に学びました。社団法人倫理研究所法人局の法人スーパーバイザー 毛利 智典氏の講演の中から、「ギブ&テイクではなく、ギブ&ギブ&ギブを心がけること」「何事も言われたからやるのではなく、主体性を持ってサツ

と受け取ること」

「自分の個性を世のため人のために働かすこと」の大切さと重要性を学びました。

事業体験報告をされた、長野県倫理法人会会長のミツヤ ジーホーム(株)代表取締役の安江高治氏は富士高原研修所でも同じ部屋でともに挨拶訓練や掃除をした仲間です。その後、永田氏、井内氏、水野氏、能登氏とご一緒させていただいた長野県伊那食品を訪問した際にもお会いしました。毎日、会社の前の1kmの清掃を5年間も継続しておられることにあらためて感動しました。鍵山秀三郎氏の、「凡事徹底」を知っている人は多いのですが、いざ、実践している人はすごいと思います。

びわこ湖南倫理法人会 幹事 木谷 陽介



びわこ湖南倫理法人会 今年2回目の100人MS開催

テーマ『運をよくする経営法』

講師 (社)倫理研究所 法人スーパーバイザー 瀧住 寿彦氏

参加者81人、未会員約20社参加!

瀧住 寿彦氏より

「倫理に入って2年。親に2回も勘当いただいた波乱万丈の人生。そんな私が……。未会員の方は倫理に入会したほうが得ですよ!入会できる人は1000人に1人。」

「運をよくする方法の1番は、お墓参り。私は25年間、東京から奈良に毎月お墓参りに!」

「運をよくする方法の2番は、「これがよい!」いろいろな苦難があっても、この苦難は自分に何を教えているんだろうな?これがよい!これがよい!と考える。」



未入会の人にも倫理の良さを実感いただける素晴らしい講演だったと思います。100人MSに参加いただいたご縁を倫理の仲間作りにつなげていきます。ありがとうございます。

びわこ湖南倫理法人会 専任幹事 能登 清文

びわこ湖北 倫理経営講演会

平成22年6月15日

「事業体験報告」 東京巣鴨倫理法人会 副会長 山本 茂雄氏

「講演」(社)倫理研究所 首都圏方面長 藤崎 正剛氏

「事業体験報告」では、東京巣鴨倫理法人会の山本茂雄副会長に御自身の体験・実践をお話頂きました。山本様は倫理で学びを始める前のことからお話始めて頂きました。

以前、奥様や家族に手をあげていたころは、家族が病気がちで、いつも家族の誰かが病気で、会社でも資金繰りや事故などのトラブルが絶えず、自身もとても頑固だったそうです。

あるきっかけで倫理と出会い戸惑いながらも実践をしていくと、長く続いた奥様の病気が治ってしまったそうです。この実践結果には御自身もびっくりされどんどん実践を重ねていかれました。その結果、

家族も元気になり、会社でのトラブルも無くなっていったそうです。現在、会社は御子息に社長を譲られ、御自身は会長となりましたが、会社の業績は順調で、不況といわれる中でも大型の物件受注が絶えず、人手が足りない程になっているそうです。当時を振り返ると、今の状況は倫理のお陰だったと、ますますの実践に力を入れられているそうです。山本氏は始終、実直で明るく、倫理を学ぶ前と後をわかりやすくお話頂き、会場の皆様も熱心に聴き入られておりました。



東京巣鴨倫理法人会 副会長 山本 茂雄氏



また、講演には、湖北には久しぶりに藤崎正剛首都圏方面長に来ていただきました。

講演会の進行上、「報告」から「講演」の間に休憩が取れなかったのですが、藤崎方面長から講演開始直後に軽い体操を入れて頂き、会場の皆様もリフレッシュし講演に集中できました。講演会のテーマは「希望は心の太陽である」でした。どんなことも心が先行する。明るい心(希望、前向き、積極)か暗い心(心配、憂い)か。明るい心を先行させるには、①即効②準備をしっかりする③一気加勢にやる④ねばり強さが必要であると話されました。そして、明るい心を先行させることや、どんなことでも起きた事を明るく受け止めることなどについて具体的に事例をいくつかの例を挙げてお話頂きました。湖北での久しぶりの正剛節に皆様熱心に聴き入られておられました。



(社)倫理研究所 首都圏方面長 藤崎 正剛氏

びわこ湖北倫理法人会 幹事 山岡 朗

大津倫理法人会ナイトセミナー&モーニングセミナー

平成22年6月24日(木) 18:30~・25日(金) 6:30~

ナイトセミナーテーマ「倫理を経営に活かす：創業百年企業を創ろう」

モーニングセミナーテーマ「倫理で組織を変える：社員のモチベーションアップ」

岐阜県倫理法人会 普及拡大委員長 SMC税理士法人・代表 曾根 康正 氏

<全国でも初の試み?ナイトセミナー&パネルディスカッション>

大津倫理法人会では去る6月24日夜に、岐阜県倫理法人会普及拡大委員長の曾根康正さんをお招きして、ナイトセミナーを開催致しました。通常の「経営者の集い」なら講話をお聴きし、その後希望者が講師を囲み懇親会を行うのですが、今回は、セミナー終了後引き続き講師を含め4名のパネラーに前へ出て頂き、倫理法人会への入会のキッカケや入会して良かったこと、ご自身が変わったこと等の貴重な体験談をお話し頂きました。

パネラーは、法人レクチャーでもある講師に、滋賀県倫理法人会発展の功労者で現在も普及拡大副委員長の日下英治さん、大津のみならず各単会へも積極的に参加され、倫理にハマっておられる金谷幸男さん、JCでもご活躍されている、びわこ湖南幹事の中野光一さんでした。

今回の企画は、会員以外の方により具体的に「倫理法人会」のことを知って頂く目的で開催致しましたが、会員の方からも大変好評な感想をお聞かせ頂き、嬉しい誤算でした。

大津倫理法人会 専任幹事 濱名 和彦



倫理（心を高める）と黒字（儲け=専門知識を高める）の両輪が大切と力説。儲けたいだけ！が判断基準のお客様第一主義を完全否定。お客様1人を失っても、社員を大切にし=社員の存在を承認し・任せて・感動させてモチベーションをあげれば1：10以上の比重で10人以上のお客様に貢献感謝信頼の関係を築ける社員が退社せず成長することの合理性を断言。

自分に近い人に感謝できない人が何でお客様に感謝できるの？家族から信頼を得られない人が何でお客様から信頼を得られるの？という鋭い視点から経営理念の冒頭に家族・仲間を追加表記し「家族・仲間（=友人や社員）・お客様及び地域社会に貢献します・感謝します・信頼を得ます」と変更してお客様より社員を大切に判断基準の断行、社員を書いてほめる有難うカードの実践披露にも大きな拍手が湧きました。

大津倫理法人会 幹事 金谷 幸男

彦根倫理法人会 経営者の集い

平成22年6月25日 18:30~19:30

テーマ 『家業』

堺市倫理法人会 事務長 法人レクチャー 横山 康雄氏

横山氏は、41歳と法人レクチャーとしては、若い方ですが、家業というテーマで、子供の頃からの経験を話していただきました。

横山氏の父は、農家の出身だったので、農作業を手伝わせると同じ様に家業の店を手伝われていたとのこと。

子供の頃は、さほど手伝いが、好きでは無かったとのことですが、何時しかアルバイトや、就職先で、商売を学び家業の食堂を継ぐことになったそうです。

今では、父母と奥さんの4人で、テレビドラマの「渡る世間は、・・・」のようなにぎやかな元気な食堂を経営されています。

家業のすばらしさは、親の生き様を子供に見せることができる。

父は、必死に生きることを見せてくれたから今、私もそうしたいと話されてました。

子供の夢は、家業の食堂の料理長になることだそうです。そして横山氏も子供の夢の食堂を立派にする為にがんばっておられるとのことでした。

彦根市倫理法人会 事務長 森田 真人



びわこ湖東倫理法人会 モーニングセミナー

平成22年5月19日・20日

三重県倫理法人会 普及拡大委員長 (株)おにぎりの桃太郎 代表取締役社長 上田 雅彦氏

びわこ湖東倫理法人会では去る5月19日、20日におきまして、三重県から三重県倫理法人会 普及拡大委員長で(株)おにぎりの桃太郎 代表取締役社長 上田 雅彦氏をお招きし、ナイトセミナーならびにモーニングセミナーの講話を戴きました。

冒頭、三重県における普及拡大の手法として、県内8単会が競ってモーニングセミナーの出席率を上げる活動と活力朝礼の導入に力を入れていることをご報告いただきました。これは、昨年度まで県倫理法人会会長をされていた上田氏の発案で、倫理の基本であり原点であるモーニングセミナーに全精力を傾けることが、普及拡大への一番の近道であること、活力朝礼が企業の業績・社員教育にとっても大切であると力説されていました。我々滋賀県倫理法人会においても大変参考になる手法かと思えます。

この二日間の講話の中で、特に私が感銘を受けたのが「実践」と「実行」の違いです。「実践」は「実行」と違い、「物事が成就するまでひたすら実行し続けること」です。継続し続けることに倫理の本質があることをあらためて知らされました。

上田氏は、ご自身のことを「倫理」と「不倫理」を行ったり来たりしている人間だ、とおっしゃっておられましたが、若いうちから大変なご苦労されてきたご経験の中で、本当に大切なものを見つけ実践してこられた姿に、あらためて倫理経営の素晴らしさを感じました。

びわこ湖東倫理法人会 副事務長 菊 雅章





今回の企業訪問はびわこ湖北倫理法人会の有限会社ダイジプロダクト様にお邪魔しました。

ダイジプロダクト様は設立当初、大阪に本社のある大自工業(株) (自動車用品・部品製造販売) の製品加工工場としてスタートしました。その後、製品加工など生産を海外へ移していく中、その業務は物流・検査場としての役割へと変わってきました。

朝礼を見学させて頂きました。感動しました。ダイジプロダクト様の朝礼は以前倫理経営講演会で拝見していましたが、職場へお邪魔して目のあたりにすると言葉にできない感動がありました。

朝礼にこれから取り組まれる会社の方、朝礼を取り入れているがうまくいかない会社の方は是非見学にお邪魔させて頂くと良いのではないかと思います。私も自社の現在の朝礼に甘んじていましたが、改善する強い想いをもちました。

朝礼は13年前から始められました。当初は現在のような形ではなく、万人幸福の業と職場の教養の組み合わせで始められました。その頃は全員の気持ちが揃っておらず、与えられたものを読むという朝礼だったそうです。その頃から少しずつ進歩を遂げ現在の様な素晴らしい朝礼になったと思いますが、私が鳥肌が立つ程感動したのは、ダイジプロダクト様の朝礼が完璧だったからだけでなく、実はまだ少し、ほんの少し戸惑いながらも、仲間に合わせて自分なりに一生懸命取り組まれている方がおられ、その方の今まさに成長せんとするお姿に感動したのかもかもしれません。

スタッフの皆様の成長し続ける姿に笹木課長は、「朝礼が充実していくと同時にスタッフが成長していった。」「朝礼で声が出る様になった頃、業務の声の掛け合いが良くなり、チームワークが良くなってきた。」と言われます。そして、「社員が輝かないと、会社は輝かない」「スタッフの成長していく姿が面白くて、楽しい」とおっしゃいます。

どのお言葉も数々の実践から出てきた言葉ばかりでとても心に響きました。

業務の方も、ISO14001を取得され、物流は、ケース出荷からバラ出荷、ネット販売まで多様化し、益々重要になっていられるでしょうが、素晴らしい社員さんが輝くダイジプロダクト様は益々輝いていられることと確信しました。



(有)ダイジプロダクト 課長 笹木 三枝氏



びわこ湖北倫理法人会 幹事 山岡 朗

有限会社 ダイジプロダクト

本社所在地：〒529-1606 滋賀県米原市間田 270

TEL：0749-55-2299 FAX：0749-55-2235

設立：1991年5月

代表者：代表取締役 濱浦 輝行

事業内容：大自工業(株)等製品の物流・検査業務